

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆいまーるわんぴーす		公表日		2025年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	部屋の大きさと利用者様の人数のバランスに配慮しています。	利用者様の特性によって、人員配置などでスペースとのバランスをみながら、適切なスペースの確保に努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	利用定員に添った職員配置を行っています。	ご利用人数やイベント内容に応じて職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	机などの家具の配置で、どこでどんなことをするか次に何をやるのかわかるように1日のスケジュールをボードに書いて提示しています。	必要に応じて環境の構造化、時間の構造化、活動の構造化を図っていき、安心して空間で過ごしてもらえよう工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	利用者様の利用前後に掃除・整理整頓・アルコール消毒等を行っています。	今後も気持ちよく過ごしてもらえよう掃除を徹底していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	利用者様の状況によって、ひとりになれる場所を確保しています。	利用者様の状況に合わせて個別の部屋を使用してもらいながら、落ち着いて過ごせる環境作りを努めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	4	日々ミーティングで、業務改善のための話し合いを行っています。	職員全員が参画できるように調整を行い、細かい目標設定と振り返りを今後は徹底していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	事業所評価の結果を職員みんなに周知し、話し合いを行っています。	保護者様の意見を真摯に受け止め、職員全員が一丸となって支援に取り組みようチーム力の強化を行うと共に、必要な情報の提供を適時行っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	ミーティングはもちろん、日頃の話し合いの中でも利用者様の状況などを共有し、業務改善に努めています。	職員の意見を把握し、その都度話し合いを行いながら業務改善に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	第三者による外部評価は実施していません。	第三者による外部評価が開始した際は、指摘に対して迅速に対応していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	施設内研修は、年間を通して行っており、また外部研修も職員の資質向上を図るため、できるだけ参加してもらおうように施設長から発信があります。	外部研修の告知などは行っていますが、業務の関係上参加できない現状もあつたので、今後は全職員が参加できるよう勤務等の工夫を行っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	今のところ支援プログラムの作成、公表はされていません。	義務化に向けて作成の準備を進めているので、公表された際は職員周知と意識統一を行い支援に繋げていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントを行い、利用者様と保護者様のニーズや課題を聞き取りしたものをもとに分析し、作成しています。	担当者会議の参加や送迎時等、利用者様と保護者様のニーズを把握し、サービス計画の作成を行っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	個々の利用者様の支援に関わる職員で話し合い聞き取りしたものを反映させながら作成している。	児童発達支援管理責任者だけでなく支援会議等を行い、話し合いの場を設けています。今後も、職員全員でサービス計画の作成を行っていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画の支援内容を十分理解できていない職員には、ミーティング等で共有し、支援につなげていっています。	児童発達支援管理責任者が率先して会議を開催し、全職員がサービス計画の内容を理解でき支援できるよう仕組みを今後も構築していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	利用者様の適応行動の状況を、それぞれのアセスメントを使用することによって確認し話し合いを行っています。	標準化されたツールの活用は十分行っていないので、今後は様々なツールを活用しながらアセスメントを実施していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	放課後等デイサービス計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、利用者様の支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容の設定をしています。	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」とは何か、設定されている具体的な支援内容は何か等、職員が十分理解できていない部分もあるので、職員研修や支援会議を行いながら知識を深め、支援に繋げているよう努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムの立案は、職員みんなで行っています。	プログラムの立案は出来るだけ全員の意見を聞いて作成しています。今後も色々な視点から活動内容を話し合い、利用者様が楽しく取り組めるよう工夫していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	活動プログラムが固定化しないよう考えています。	活動プログラムの固定化・マンネリ化を防ぐため内容を変更を行っています。利用者様が楽しく活動に取り組めるよう今後も工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用者様の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。	今後も利用者様のより良い支援のため個別活動と集団活動のバランスを考え、適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画の作成・支援を行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	職員間で必ずミーティングを行い、その日行われる支援の内容などについて確認している。	日々のミーティングの時間を大切に、利用者様に合わせた支援ができるように、より綿密な打ち合わせを行っています。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後には、職員間で必ずミーティングを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。	支援の振り返り、気付いた点等の共有をもとに次の支援にどう活かしていくかを話し合うようにしています。今後もミーティングの時間を大切に、支援に繋げていけるよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援に関して記録をとることは勿論、ミーティングノートを利用し、支援の検証・改善につなげられるように情報の共有に努めています。	時間の制約などもありますが、記録のとり方などに工夫し、記録漏れのないように配慮しています。日々の記録を支援の検証・改善に繋げていけるよう職員研修等を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	定期的に職員に聴き取りをし、モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。	モニタリング会議を開催し、職員間で見直しを行いながらより良い支援に繋げていけるよう工夫してまいります。モニタリング会議に出席できなかった職員にも周知を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	4	3	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行うようにはしていますが、不十分な部分があります。	全職員が、放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を理解し支援を提供できるよう職員研修を行っています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	利用者様が自己選択できるように、イベント活動・余暇活動を通して、自己決定を行える場面をできるだけ作っています。	自己選択・自己決定ができる場面の設定や環境作りを行っています。利用者様自身が選択し決める事ができる環境作りを今後も行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	利用者様の担当を決めることで、より利用者様の状況を理解した職員が、サービス担当者会議等に参画できるようにしています。	利用者様と職員の関係性・相性なども考慮し担当職員を決めています。今後も担当職員もしくは児童発達管理責任者が担当者会議やケース会議に参加してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4	必要な時には連携していますが、体制を整えているとは言えません。	担当者会議やケース会議には地域の関係機関との連携を行える時もありますが、全利用者様に関わる提供者が集まれる会議の開催を相談員さん等に協力してもらいながら実施できるよう検討してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校との情報共有は、電話・メールなどで行っています。連絡調整はその都度適切に行っています。	学校との連携は以前に比べてきています。今後も連絡調整等を行いながら情報共有に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	利用者様が中・高生のため、就学前に利用していた保育所や幼稚園等との間で情報共有を行う事が少ないです。	対象利用者様が中・高生のため連携が難しいですが、必要があれば会議等に出席できる体制を整えておきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	以前は支援内容等の情報提供を行っていましたが、現在は行っていません。	コロナ前には行っていたので、今後は率先して就労先との連携や情報提供会議を行い、スムーズな移行が行えるよう努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6	担当者会議等で情報共有をすることはありますが、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会は少ないです。	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言等をいただける体制作りを行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が、今のところ少ないです。	必要に応じて、放課後児童クラブや児童館との交流・地域の他の子どもとの活動する機会がとれるか検討してまいります。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	以前は参加していましたが、現在は参加していません。	今後は日程調整等を行い参加できるよう工夫してまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日頃から送迎時、サービス提供記録等によって利用者様の状況を保護者様と伝え合い利用者様の発達の状況や課題について共通理解を持ってよう努めています。	保護者様と利用者様の情報共有の機会をできるだけ増やし、保護者様と連携しながら支援を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	卒業後の就労等に向けて、保護者様との座談会等を設けてさせて頂いています。	今後も定期的な保護者会の参加を行い、保護者様同士の情報共有の場を作っていきます。ペアレント・トレーニングについては、相談があった保護者様には実施していますが、全体的な活動までには至っていないので今後検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	運営規程・利用者負担等については契約時に説明を行っています。支援プログラムは公表されていないので説明していません。	契約時には、分かりやすく丁寧な説明を心掛けて安心してご利用して頂けるよう努めてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	利用者様や保護者様の意思の尊重、最善の利益を優先できるように、利用者様や保護者様のご意向の確認はモニタリング等で行っています。	利用者様や保護者様のご意向を伺えるように日頃からの関わりにも配慮し、サービス計画の作成、支援を行っているよう工夫してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	できるだけお会いできる機会を作り、「放課後等デイサービス計画」の支援内容の説明を行い、保護者様から同意を得ています。	モニタリングやアセスメントを基に「放課後等デイサービス計画」を作成し、同意が得られるようなサービス計画作成に努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者様からの相談は勿論、保護者様のご様子で気づきがある時は、お話を伺い相談に応じて頂くよう気を付けています。	保護者様からのお悩み等には、迅速に対応してまいります。また、適切な助言や説明ができるよう職員の資質向上にも努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者会（座談会）を開催することで、保護者様同士の交流の機会を作ることができたが、きょうだい同士での交流は行っていません。	保護者様のご意向や不安等お聞きし支援ができるよう、今後も保護者会を開催してまいります。きょうだい同士の交流の場については、今後検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	利用者様や保護者様からの苦情があった場合は、上司に報告・相談等をした上で、迅速にかつ適切に対応できるよう心掛けています。	これからも利用者様・保護者様の苦情を真摯に受け止め、より迅速により適切な対応を行っていきます。また、苦情内容等は全職員に周知し、再発防止に努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的に職員紹介等を発行したり、HPやSNS（Instagramなど）を活用したりしながら、デジタル化を進め手軽に利用者様や保護者様に対して、情報の発信を行っています。	HPやSNS等を活用し、分かりやすく情報を提供・発信できるように工夫してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取扱いに十分留意するよう、職員同士で注意しています。	今後も個人情報の取り扱いについて徹底してまいります。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	利用者様や保護者様との意思の疎通や情報伝達の際には、相手の立場にた言葉遣いや表現方法など伝え方に気を付けています。	今後も利用者様や保護者様の思いに寄り添えるよう職員研修を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	事業所の行事に地域住民を招待することはしていませんが、地域のお祭りの時御神輿に来て頂いています。	現在、地域行事等の参加や事業所のイベント活動への招待を行っていませんので今後検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	策定しているマニュアルに関しては、職員等に研修等を通じて周知しています。	発生を想定した訓練は、随時行っていきます。マニュアルについては保護者様への周知が不十分なので今後発信していけるよう工夫していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	業務継続計画（BCP）を策定し、年間計画で研修を行い、訓練は行っています。	業務継続計画（BCP）を策定したものをより正しく全職員が理解し、より実践的な訓練ができるよう見直しを行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	予防接種等は、保護者様からのご連絡によって確認させて頂いています。服薬やてんかん発作等の利用者様の状況は、契約時や保護者様のご連絡によって確認しています。	事前に確認できる様々な利用者様の状況については、情報収集に努めていきます。服薬やてんかんの発作の有無は職員周知を徹底します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在、食物アレルギーのある利用者様の利用がありません。	現在、食物アレルギーの利用者様はいませんが、アレルギーがある利用者様には、料理イベント・おやつ時に原材料の確認をして提供するよう職員指導を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画に基づいて、安全管理に必要な研修や訓練をしています。	職員研修や訓練を実施し、利用者様が安心して事業所を利用できるよう対策をとっていますが、職員周知の仕方を工夫し、全職員が安全管理の意識が持てるよう見直しを行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4	利用者様の安全確保に関して、保護者様等との連携、安全計画に基づく取組内容について、保護者様等へ周知が十分できていません。	職員には研修等で意識統一を図っていますが、保護者様への周知は十分できていないので、今後はSNSやHPを活用して発信していけるよう工夫していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	ヒヤリハットの必要性は理解は理解していますが、職員が率先して作成するまでに至っていません。	ヒヤリハットの重要性を職員に再度周知し、再発防止に努めていくとともに、職員の意識と資質向上にも力を入れていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止研修を実施して、職員の意識統一を行っています。	引き続き虐待防止の研修を行い、職員同士で日々の対応について確認していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	今のところ身体拘束は行ってはませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者様への説明・個別支援計画への記載が必要な事を研修しています。	やむを得ず身体拘束が必要な場合は、利用者様や保護者様と十分話し合いを行い、放課後等デイサービス計画に記載していきます。	